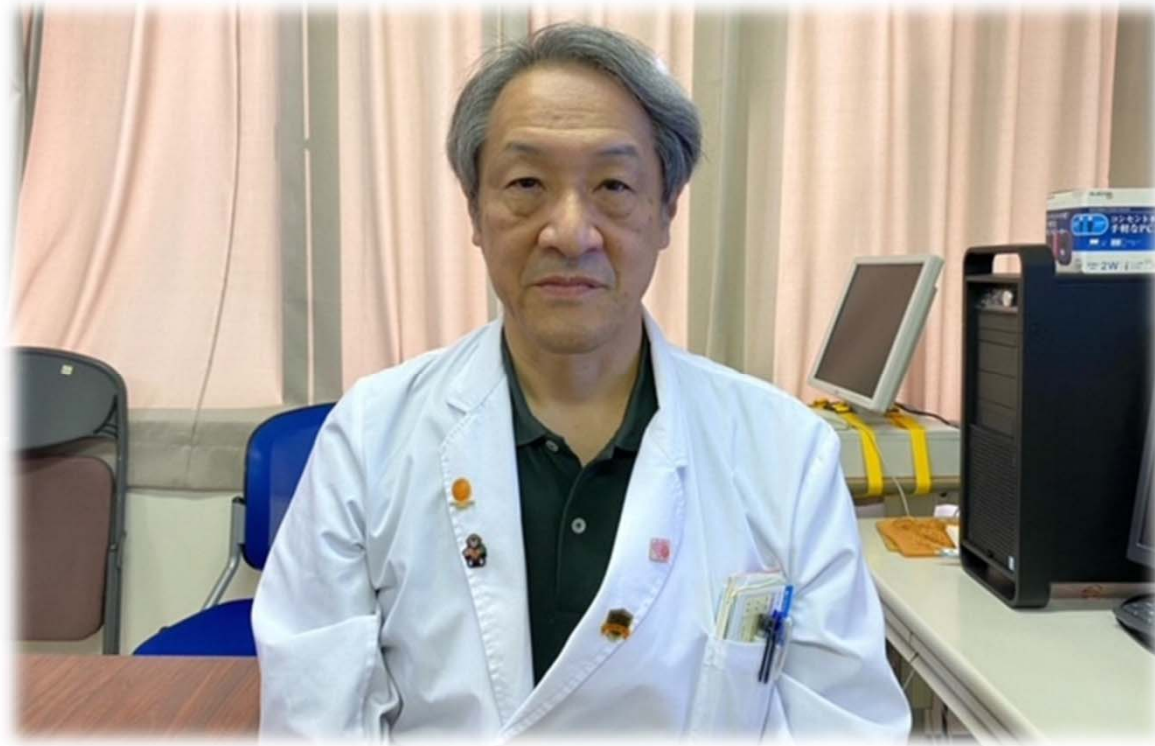


令和5年度診療科別目標発表

緩和ケア科

医師の紹介

緩和ケア科



No.	氏名	役職等
1	吉野 吾朗	緩和ケアセンター所長
2	津久井 賢	緩和ケア科科部長

診療実績等



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

緩和ケア科

主な診療実績	R3	R4
介入依頼件数	98件/年	107件/年
緩和ケア診療加算	86件/月	100件/月
がん性疼痛緩和指導管理料	81件/年	85件/年

第3次中期経営計画の方向性と重点施策

(令和3年度～令和7年度)

方向性1 高度ながん医療の提供

- ① 低侵襲手術の充実
- ② 外来化学療法センターの拡充
- ③ がんゲノム医療連携病院の選定
- ④ がん検診の充実

方向性2 救命救急センターの機能強化・充実

- ① 救命救急診療体制の充実
- ② 救命救急を担う人材確保・育成

方向性3 大規模災害や感染症のまん延に備えた機能強化・充実

- ① 災害拠点病院としての施設整備、体制の強化
- ② 感染症への対応強化

方向性4 住み慣れた地域で安心して暮らせる医療提供体制の構築

- ① 回復期・在宅医療へスムーズに移行できる新たな体制の構築
- ② 緩和ケア病棟の整備
- ③ 在宅医療の推進
- ④ 地域医療連携の推進
- ⑤ 検査部門の国際標準化

方向性5 持続可能な経営基盤の強化

- ① より質の高い医療の提供
- ② 職員の経営意識の醸成
- ③ 医療施設・機器の計画的な整備・更新
- ④ 積極的な情報の発信

方向性6 魅力的な職場環境の整備

- ① 医療従事者の確保
- ② 働き方改革に対応した勤務環境の整備
- ③ 働きやすい職場環境の整備
- ④ 人材育成システムの構築

第3次中期経営計画の方向性と重点施策

(令和3年度～令和7年度)

方向性4 住み慣れた地域で安心して 暮らせる医療提供体制の構築

- ① 回復期・在宅医療へスムーズに移行できる新たな体制の構築
- ② 緩和ケア病棟の整備
- ③ 在宅医療の推進
- ④ 地域医療連携の推進
- ⑤ 検査部門の国際標準化

中期目標・5年後の目指す姿

緩和ケア科



緩和ケア病棟の整備

• レイアウト、アメニティなどの検討、視察

レイアウト、アメニティ決定、現在工事進行中

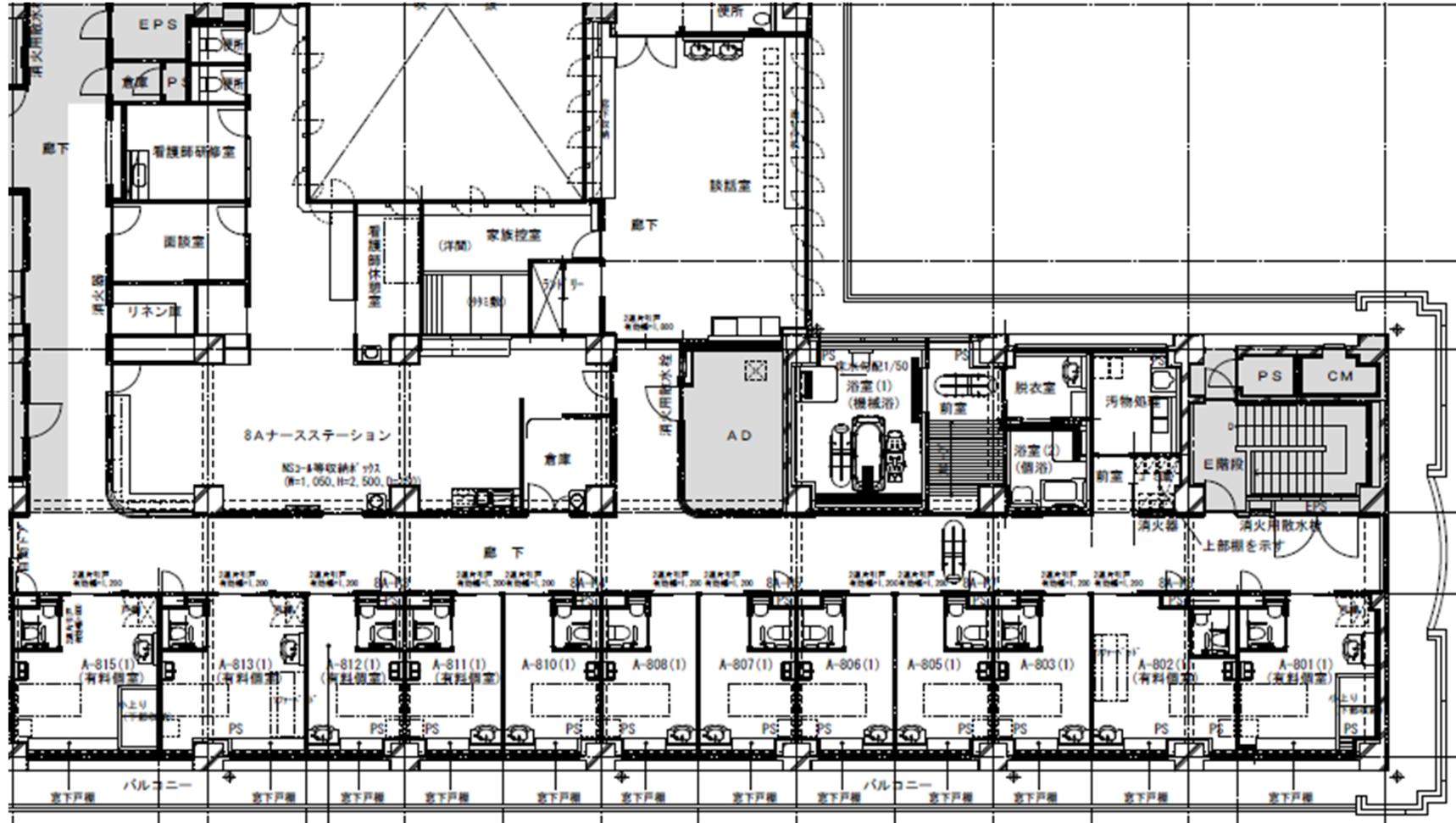
• 運用基準、マニュアルの整備

緩和ケア病棟利用のてびきを作成中

• アニマルセラピーなど、イベントの導入

アニマルセラピー依頼先内定済み

8階 緩和ケア病棟 平面図



※病棟改修基本・実施設計業務委託設計図より

8階 緩和ケア病棟 イメージ図



※病棟改修基本・実施設計業務委託イメージ図より

短期目標・令和4～5年度の目標

緩和ケア科

N O.	目標	方法	結果
1	ケアの質の向上	緩和ケア研修会の開催	実施
2	教育、人材の育成	緩和ケア研修会の開催	実施
3	在宅医療の推進	退院前カンファランスへの参加 病院訪問看護師との連携	実施
4	追い出しとならない 退院調整	啓蒙・保証	実施
5	学会活動	学会発表、参加	実施
6	後継者の確保	リクルート活動	難航中

中期目標・令和7年度に目指す姿

緩和ケア科



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital



緩和ケア病棟の整備

- ・ 令和5年度中の緩和ケア病棟オープン
- ・ 健全で、持続可能な運用
- ・ アニマルセラピー、絵本読み聞かせ、臨床宗教師の介入などの、
イベントの定期的な実施

短期目標・令和5～6年度の目標

緩和ケア科

No.	目標	方法
1	緩和ケア病棟の健全な運営	他施設との情報交換、研修
2	ケアの質の向上	緩和ケア研修会の開催
3	教育、人材の育成	緩和ケア研修会の開催
4	在宅医療の推進	退院前カンファランスへの参加 病院訪問看護師との連携
5	追い出しとならない退院調整	啓蒙・保証
6	学会活動	学会発表、参加
7	後継者の確保	リクルート活動

アフターコロナ・目標達成に向けた取組

緩和ケア科

No.	項目	取組内容
1	緩和ケア検討会	毎月定期的な開催
2	多職種連携・チーム医療	継続
3	緩和ケア病棟開設準備	緩和ケア病棟設置準備 ワーキンググループの活動継続

カンファランス風景



多職種連携による、チーム医療を
実践しています

決 意

質の高い医療・ケアが、すべての
患者、家族に提供できるように、
不断の努力を続けます